



川口市立在家中中学校 川口市大字安行領在家272番地
048(295)4102 FAX 048(295)5661
URL <http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/zaike-j/>



・心身ともにたくましい生徒
・自ら進んで学ぶ生徒
・豊かな情操を培う生徒

すべては生徒の笑顔のために ～部活動について考える～

校長 鈴木 玲

9月21日(水)から市民体育祭が行われました。3年生引退後、1・2年生の新チームとして初めて臨んだこの大会、それぞれの部が大健闘してくれました。また、夏休み中には6月の学校総合体育大会を勝ち抜いた陸上部、男子バドミントン部、女子卓球部の選手たちが県大会に出場し、吹奏楽部は県吹奏楽コンクール南部地区大会や川口フェス10周年記念コンサートで演奏を行いました。私も時間の許す限り、これらの競技や演奏を会場で見せてもらいましたが、本校の生徒の頑張りを目の当たりにすることは大変うれしく、感動を覚えるものです。

そんな中、現在、国のスポーツ庁をはじめとする各所で「運動部活動の地域移行」が議論されています。本年6月にスポーツ庁から出された検討会議提言では「将来にわたり子供たちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保するとともに、地域の持続可能で多様なスポーツ環境を整備し、子供たちの多様な体験機会を確保することを目指し、令和7年度を目途に運動部活動を段階的に地域に移行していく」と、概ねこのようなことが述べられています。県や市としてどのように進めていくのか、現時点で具体的には示されていませんが、現状と課題を検討しつつ、近いうちに動き出すものと思っています。

確かに部活動は生徒の自主的、自発的な参加により行われるものである以上、学校外部の団体で活動することも、その範疇でしょう。しかしながら、学習指導要領に「学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、学校教育の一環」と記されているとおり、学校教育活動における部活動のもつ役割はとても大きなものです。教育課程との関連を考えれば、すべてを直ちに切り離すことはとても困難だと言えます。当然のことながら顧問の教員たちは本校の「学校教育目標」や「目指す学校像」を常に念頭に置いて部活動の指導に当たっているのです。

少々難しい話になってしまいましたが、要するに私たち教員は、部活動を含むすべての教育活動を通じて生徒たちの成長を支援したいのです。何かをなし終えた後の生徒たちの笑顔が見たいのです。

そのために、改めて保護者や地域の皆様にお願いがございます。一つはこれまでと同様に生徒の部活動へのご理解とご協力をいただきたいこと。もう一つは、これまで部活動のために教職員が並々ならぬ力を注いできたことをご理解いただきたいということです。その上で、この力の一端を授業改善や教員としての資質向上等に費やすために、これから先、部活動の時間短縮や休養日の設定、地域への活動移行を進めていくであろうことをご承知おきいただきたいのです。

今後、部活動の地域移行が進み、生徒の活動に教員が関わる部分、関わるできない部分が生じたにせよ、「子供たちの成長を支援したい」という本校全職員の熱い思いに変わりがないことは、ぜひご理解いただきたいと思います。

今回の市民体育祭でも、結果報告に来てくれる生徒たちの笑顔は晴れやかで清々しいものでした。勝っても負けても、試合後の選手たちにかかる顧問の言葉は温かく、次に向けて力強く背中を押すものでした。

保護者や地域の方々と連携しながら、いつまでも生徒の笑顔が絶えぬよう、よりよい部活動体制を考え、整えていきたいと思っています。



各部の代表 9月12日(月) 市民体育祭等 壮行会を終えて